

ぐるぐる先生、子どもたちの意識は。

～子どもたちの意識をもとに「チーム学年経営」を行います。～

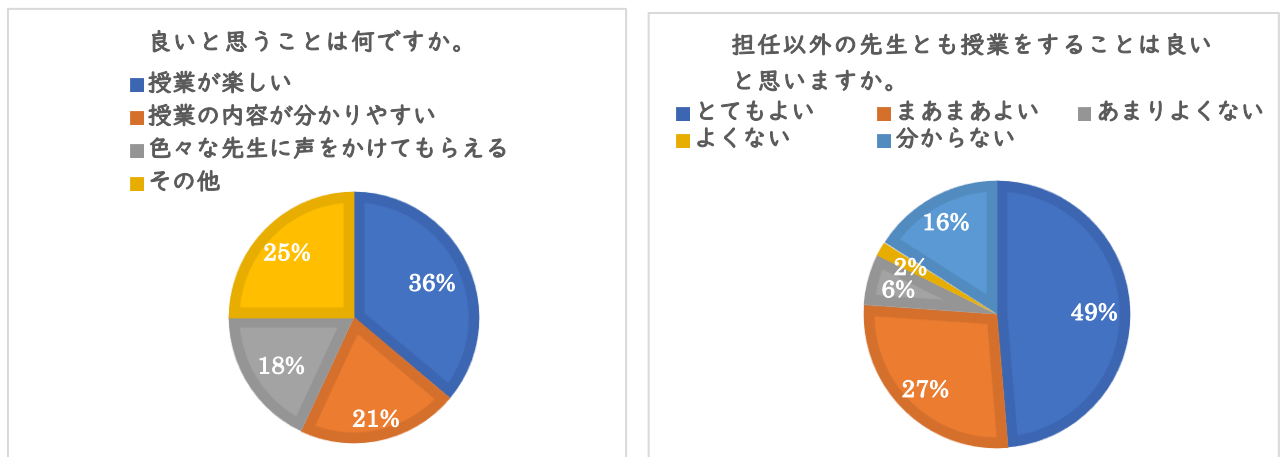
校長 岩澤 尚彦

若葉が芽吹き、本校や公園などには、街路樹のつつじの花が色鮮やかに咲き広がる季節となりました。4月25日の授業参観・懇談会では、多くの保護者の皆様にご参会いただきましてまことにありがとうございました。スタートしたばかりの各学級の様子をご覧いただくことができました。ご多用の中、来校いただきまして感謝申し上げます。

さて、本校では、ぐるぐる先生として、必要に応じて主に中・高学年を中心に教科担任制を数年前から行っています。

子どもたちのぐるぐる先生に対する意識はどうかということ、児童支援専任 杉山 典加主幹教諭の提案で、昨年度、子どもたちに向けアンケートを行いました。

アンケートの結果、考察したものを抜粋して、お知らせいたします。



☞ とてもよい、まあまあよいを合わせると、9割の児童が良い取組だと感じていることが分かりました。

☞ 良いと思うと答えた児童の理由としては、「授業が楽しい」が一番多かったです。これは、授業を進める側としても嬉しい結果だと思います。

「授業の内容が分かりやすい」という理由も含めて考えると、やはり、一つの教科・内容を、多くの児童に対して、繰り返し授業することで、教材研究・授業改善が深まった成果ではないかと考えます。先生方の専門性が生かされたという事もあると思います。

教科担任制を「あまりよくない」「よくない」と回答している児童もあり、その理由としては、「落ち着かない」というものが一番多くありました。変化が苦手な児童にとっては、先生が頻繁に入れ替わったり、教え方が一定でなくなったりということに、不安を感じるのかも知れません。

(児童支援専任 杉山による集計及び考察)

本市の施策である「チーム学年経営」を、今までの教科担任制の実績を活かしたいと考え、本校においても今年度から導入することにいたしました。学級をもたないチーム・マネジャーを配置し、教科担任制をマネジメントしていくシステムです。本校では、このチーム・マネジャーに佐藤 牧子教諭が配置されました。

今後は、一人一人の教諭が担当教科を絞り、授業の準備や指導・評価に工夫を重ねて、子どもたちがより、分かりやすく楽しい授業展開できるようにしていきます。また、担任以外の教諭にも生活や学習のことを相談できる体制を強化していきます。今後は、保護者の皆様にもこの取組について、ご意見を伺い、工夫や改善をして、子どもたちのよりよい学校生活や学習の実現に努めてまいります。